研究課題名	DPC、レセプトデータを用いた抜管後肺炎のリスク要因の検討
研究期間	実施許可日～2028年3月31日
研究の対象	2016年4月～2024年3月の間に広島大学病院で全身麻酔手術や集中治療で気管挿管をされた方。
研究の目的・方法	<p>研究目的：気管挿管管理を終えて、抜管後に肺炎を発症するリスク要因を明らかにすることです。</p> <p>研究の方法：対象者のDPC、レセプトデータの情報を統計解析して、抜管後肺炎と関連するリスク因子を抽出します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>DPC、レセプトデータに記載されている情報を用いる予定です。</p> <p>*氏名や住所は使用いたしません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本情報：診療科、主傷病名、入院の契機となった傷病名、生年月日、性別 2. 入院期間：入院年月日、退院年月日 3. 入院形態：予定入院、緊急入院の別 4. 転 帰：退院時転帰、退院先 5. 副 疾 患：入院前併存疾患、入院後発症疾患 6. 意識状態：入院時と退院時の意識状態（Japan Coma Scale） 7. 身体機能：入院時、退院時の身体機能（バーサルインデックス） 8. 手術関連情報：手術の種類（手術コード）、手術日、麻酔の種類 9. 気管挿管関連：挿管開始日、挿管終了日 10.人工呼吸器関連：人工呼吸器の開始日、人工呼吸器の終了日 11.栄養管理関連：胃管挿入の開始日、胃管抜去日、経口食開始日、入院時と退院時のBMI 12.肺炎（間質性肺炎は除外）と診断がついた日の各種データ： 肺炎と診断がついた日、抗生剤投与開始日時、抗生剤開始直後のバイタルサイン（体温、血圧、呼吸数、血中酸素飽和度）、診断直後の検査データ <p>上記内容のデータを用います。</p>
外部への試料・情報の提供	ありません
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2024年1月19日）以降随時
個人情報の保護	情報は解析する前に、個人を識別できる診察券番号を削除し、代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。

研究組織	<p>本学の研究責任者 広島大学病院 看護部 平山順子</p>
その他	<p>利益相反はありません。</p>
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 看護部 担当者：平山順子 広島大学大学院脳神経内科学 助教 担当者：中森正博 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5201</p>